

田中種子氏文書概要

- 1: 文書群番号 075003
- 2: 文書群名 田中種子氏文書
- 3: 出所 丹波屋・田中種子家
- 4: 家業・役職等 米仲買・酒造・樽巻菰・縄問屋、副戸長(近代)
- 5: 地名 摂津国川辺郡尼崎風呂辻町／兵庫県川辺郡尼崎町／内尼崎町／尼崎市東本町
- 6: 行政区分 尼崎藩領／兵庫県第9区／尼崎町戸長役場／尼ヶ崎町／尼崎市
- 7: 歴史
風呂辻町は中世尼崎町の時代にすでに町場として成立していたと見られるが、町名を記した中世文書は未確認。近世城下町時代には城の東部の町場(東町)にあって辰巳町と市庭町・別所町の間に位置していた。町の北辺は大物川、南辺は左門殿川に面し、町の中央部を大道筋(後の本町通り)が貫通している。明和6年(1769)の間口合計515.5間、年不詳の史料には家数130軒と記す。本町通りには明治期以後も商店街が栄えたが、昭和19年(1944)家屋疎開により通り沿いの街区が撤去され、その跡地に昭和38年(1963)国道43号が開通、城下町以来の家並みの多くが失われた。
町名「風呂辻町」は昭和5年(1930)の町名改正により消滅した。
- 8: 伝来
市史編集室が調査済みであった本文書群を、昭和50年に田中種子氏が史料館へ寄贈。
- 9: 史料入手先 田中種子氏
- 10: 点数 971点(目録件数449件)
- 11: 年代 寛政3年(1791)～昭和8年(1933)
- 12: 構造と内容
本文書群は、幕末～明治・大正期の史料が中心で、そのうち明治期の史料が大半を占める。
内容は、①酒造業など家業に関する史料のほか、②土地売買証文、質入証文、借入金証文、講関連等、金融に関連する史料がよくまとまっている。文化13年(1816)に作成された風呂辻町絵図などもある。
田中七平家文書(1)、同家文書(2)と本来一体の史料である。
- 13: 関連史料 田中七平家文書(1)、同家文書(2)
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 河野未央